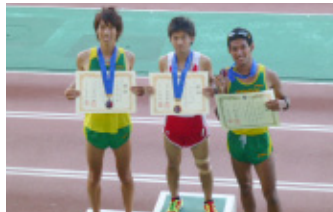


## クラブ 今年もたくさんのクラブが各大会で大健闘!

■2012年度クラブ戦績

団体名	月 日	大会名	参加種目	戦 績
ウエイト トレーニング部	5/27	全道春季北海道パワーリフティング選手権大会	男子(59kg級)	1位(全日本大会出場)
	6/10	第39回 全日本学生パワーリフティング選手権大会	男子(59kg級)	3位
バドミントン部	7/14~7/15	第59回 北海道地区大学体育大会	女子	3位
	7/8	第59回 北海道地区大学体育大会		3位
柔 道 部	8/3~8/5	第44回 全日本歯科学生総合体育大会	個人(無差別級)	優勝
			個人(66kg級)	準優勝
			団体	4位
陸 上 競 技 部	6/3	第32回 千歳JAL国際マラソン	10kmの部	優勝
	8/4~8/5	第44回 全日本歯科学生総合体育大会	個人(1500m)	準優勝
			個人(5000m)	優勝
			個人(槍投げ)	優勝
			個人(砲丸投げ)	優勝
			個人(円盤投げ)	準優勝
			総合	8位
剣 道 部	6/30	第31回 北海道医歯薬剣道大会	男子団体	準優勝
	8/18	第31回 全日本薬学生剣道大会	女子団体	準優勝
			女子個人	準優勝
水 泳 部	8/7~8/9	第44回 全日本歯科学生総合体育大会	個人(200m個人メドレー)	優勝(大会新)
			個人(400m自由形)	優勝
			個人(50m平泳ぎ(新人戦))	優勝
			個人(100m背泳ぎ)	3位
			個人(50mバタフライ(新人戦))	3位

第44回 全日本歯科学生総合体育大会



(中央)陸上競技部 大井さん(優勝)



水泳部 左から、三重野さん(優勝)、大内さん(3位)



(中央)陸上競技部 房川さん(優勝)

### 第32回千歳JAL国際マラソンで、 歯学部5年の大井尚志さんが優勝!

平成24年6月3日に千歳市にて「第32回千歳JAL国際マラソン」が開催され、10Km種目・男子中学生～39歳の部に出場した、本学歯学部5年の大井尚志さんが見事優勝しました。大井さんは本学の陸上部に所属し、これまで全日本歯科学生総合体育大会では何度も優勝の経験がある実力の持ち主です。しかしながら、学生、社会人の枠を超えてレベルの高い選手が出場する本大会では、昨年の2位が最高でした。当日は朝からやや肌寒い天候で、昨年の優勝者も参加したなか、7～8km付近からは独走態勢を維持し見事好タイムでゴールしました。同ハーフマラソンに参加した大野理事、歯学部同窓生の江戸先生らと共に表彰式に参加し、胴上げでのお祝いをしました。



### 本学大学院生が新菌種「ペイロネラ トウベツエンシス」 発見!(国際登録機関承認)

本学歯学部微生物学分野は、健康者の口腔から新しい細菌を発見し、当別町の名前を付けました。今般、それが国際登録機関から承認され、学名「ペイロネラ トウベツエンシス」で世界デビューを果たしました。

本学大学院歯学研究科2年生の眞島いつみさんは、自らの研究の一環として、健康な口腔状態の学生30名の舌垢を採取し、その細菌叢を解析しました。その過程で、従来報告されている細菌種とは異なる細菌の存在に気付き、その細菌の遺伝子や細胞壁等を詳細に分析、既報のそれらと比較検討し、これまでに報告されていない新しい細菌であることを明らかにしました。

そして、その細菌名に本学が立地する「当別」を付け、新菌種「ペイロネラ トウベツエンシス」として2012年2月に国際登録機関に提案、このたび2012年7月、その国際機関から新菌種「ペイロネラ トウベツエンシス」を承認すると言う審査結果が届き、細菌の分類領域で最も権威のある国際誌「International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology」に掲載されることが決まりました。

この細菌の病原性等は現在不明ですが、歯垢の初期形成に重要な役割を担うことが推定されることから、今後の眞島さんの研究進展に期待が寄せられます。

なお、上記研究を含む業績が認められ、将来歯科基礎医学分野のリーダーとなりうる全国の優秀な大学院生を対象とする「一般財団法人岩垂育英会平成24年度奨学生」に、全国の国公私立大学10名のうちの一人として、眞島いつみさんが選出されました。



嫌気グローブボックスを用いて実験中の眞島いつみさん